

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2014年6月



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2014年6月1日発行 通巻254(毎月1回発行)

夏山シーズン！

計画書づくりから始めよう

6月号 目次

・目次	2
・第3回県連理事会報告	3
・千葉県連盟50周年事業の案内	4
・花博士の花便り	6
・リレーエッセイ	7
・クリーンハイクに参加して	8
・県連統一クリーンハイク報告	9
・「ゆうたより」NO4	10
・支援活動参加報告	11
・第3回交流ハイク	12
・平和を願うコンサート案内	13
・県連たより	15
・6月 7月予定表	16

表紙説明

県連統一クリーンハイク集合写真

5月11日（土）高宕山・八郎塚周辺で、7会38名の参加で行われた。
当日は、快晴の中いくつかのコースに分かれてゴミ拾いを実施した。

——編集者——

2014 年度第 3 回理事会報告

■開催日時:2014 年 5 月 22 日(木)19:00～

■開催場所:船橋市西部公民館

■出席:船橋勤労者山の会、松戸山の会、東葛山の会、千葉こまくさハイキングクラブ、かがりび山の会、ふわくハイキングサークル、市川山の会、シリウス山の会、自然保護委員長、教育遭難対策委員長、ハイキング委員長、会長、理事長、副理事長、会計(松戸山翠会理事兼任)、古瀬顧問 以上 16 名

■配布資料

- ・ 2014 年事故報告
- ・ 50 周年記念行事について

1. 委員会・救助隊報告

＊教育遭難対策委員会(岡田)

- ・2014 年事故報告 船山 2 件
- ・初級登山講習 5/31～6/1 8 会より 45 名予定 5/23 各会責任者打合せ会議

＊ハイキング委員会(桑原)

- ・17 回ウィークデー山行 6 月 5 日(木)場所:湯の丸山 10 会 46 名参加予定
バス 2 台 東葛地区 25 名 千葉地区 21 名(2～3 名余席有り)
- ・31 回ロングハイク 2015 年 1/24～25 行程は前回と同じ予定だが、2 月の大雪で変更の可能性有り

＊自然保護委員会(菅井)

- ・5/11(日)統一クリーンハイク 7 会 38 名参加 30Kg のゴミ回収
ゴミの過多により急遽コースを変えたため統一した行動が取れず、申し訳なかった
- ・各会独自のクリーンハイクの取り組みを上げて欲しい

＊組織委員会(広木)

- ・5/29 委員会開催

＊女性委員会(広木)

- ・6 月の委員会は教遭の講習会の実施状況をふまえて開催する

2. 災害支援報告(吉田)

- ・5/17～18 谷川浜 ホヤ関係の作業 21 名参加
- ・6/14～15 5 月と同じ活動だが、今後は谷川浜を房総の花でいっぱい！という活動も進めていきたい

3. 50 周年記念行事(広木)

- ・具体的な内容について提案有り
- ・最初の実行委員会を 6 月 12 日(木)19 時より 西部公民館にて開催
委員会の構成メンバーは、県連役員・理事、各会代表にお願いしたい

■今後の理事会日程について

6 月 19 日(木) 場所:西部公民館 時間:19 時より

以上

千葉県勤労者山岳連盟 50周年記念事業について

第48・49期総会において「千葉県連盟50周年記念事業」に取り組む事を決議しました。この決定を千葉県連挙げて取り組み、成功させるために実行委員会を立ち上げて取り組んでいきます。

5月22日（木）の県連理事会で、大枠が討議されましたので報告し、ご協力をお願いします。

- ◆ 千葉県勤労者山岳連盟は、1967年に県内の5団体の参加で「千葉県連盟」が結成され活動を開始しました。

そして、2016年には創立50周年を迎えます

この大きな節目を、20会・768名の会員と共に喜びを共有し、諸先輩が築いてきた貴重な財産を受け継ぎ発展させて行く、新たな出発点にしたいと思います。

以下に、具体的な実施事項と、実行委員会の構成についてお知らせします。

理事会と実行委員会が協力し、各会・クラブの総力を結集し「50周年記念行事」を成功させたいと思います。

- ◆ 具体的な実施事項について（総会での確認事項の具体案）

1、50周年記念行事实行委員会の構成メンバー

- ① 県連盟役員 ② 県連理事 ③ 各会の代表 ④ 創立以来の会員

2、千葉県連盟の主要な活動をまとめ、「50年間のあゆみ」を後世に伝える。

- ① 各年代の加盟会・会員数について
- ② 特徴的な行事、出来事、
 - ・ ロングハイク・ウィークデイ山行
 - ・ ふれあいハイク
 - ・ 郡界尾根縦走
- ③ ちばニュースの紹介（創立からの？）
- ④ 歴代役員の紹介
- ⑤ その他（各会・会員からの提案、要望など）

3 千葉県連盟の自然保護のまとめ。

- ① 千葉県連盟の自然保護運動を、後世に伝える資料としてまとめる。
 - ・ 房総有料道路建設反対運動
 - ・ 迫原ダム建設阻止運動
 - ・ 鬼泪山を守る運動

- 4 房総の自然の現状と自然を守る活動について。
 - ① 産廃処理施設建設の現状。
 - ② 山砂採取の現状。
 - ③ 房総の水を守る運動について。
- 5 千葉県山、沢についてのまとめ。
 - ① 会・クラブの所有する、山行記録などの資料提供をお願いする。
 - ② 提供された資料などにもよるが、千葉県から他県連盟に発信できるガイドブック的な内容。
- 6 全会・全会員参加のイベントを、房総の自然の中で実施する。
 - ① 全会参加の交流会の実施。(清和県民の森キャンプ場、他)
 - ② 50周年を共に祝い、新たな第一歩を踏み出すイベントとする。
- 7 千葉県連盟 50周年を、800名の会員と共に祝おう。
 - ① 房総の山、同時登山
各会・クラブで、幾つかの山を受け持ち、同時に登山する。
 - ③ その山行報告をまとめる。

第1回実行委員会 6月12日(木) 19時より 船橋市西部公民館

千葉県連盟・50周年記念事業 実行委員会について

- ◇ 実行委員会の構成メンバー。
 - ① 県連盟役員 ② 県連理事 ③ 各会の代表 ④ 創立以来の会員実行委員会は、県連役員・理事を中心に構成し、各会・クラブよりの協力者を中心に構成する。
創立以来の会員には、歴代役員、創立時の活動等についての、資料提供に合わせてアドバイス等をお願いしたい。
- ◇ 実行委員会は、記念事業別に進める。
 - ① 50年のあゆみにについて。
 - ② 自然保護の取り組みについて。
 - ・今日までの、自然保護についてのまとめ。
 - ・自然の現状と、自然を守る活動について。
 - ③ 千葉県の山・沢に関する事。
 - ④ 記念イベントについて。
- ◇ 実行委員会全体の会議と各パート別の会議を必要に応じて組み合わせて実施する。
- ◆ 各会からの、記念事業について要望・意見・アドバイスをお願いします。
千葉県連盟ホームページに、記念行事専用のページを作ります。
当面は、広木までお願いします。danphiro@zpost.pulala.or.jp

卯の花の匂う垣根にホトトギス早も来鳴きて・・・ホトトギスが鳴き、ウツギが咲いてきました、詩の卯の花は**ウツギ**（アジサイ科ウツギ属）のことですが香は余りありません。バイカウツギは花が八重で綺麗で良い香りがあり庭に植えられます。木の中心が空洞あるので空木で、ウツギと名の付く花はヒメウツギ、コゴメウツギ、マルバウツギ、ツクバネウツギ、タニウツギ、サラサウツギ、ノリウツギ、ミツバウツギなどですが科や属が違うようです。

この時期はアヤメ科の植物が気になります。ジャーマンアイリス（ドイツ）、キショウブ（ヨーロッパ原産）野生化、**ルイジアナアヤメ**、（アメリカ原産）、紅紫の花アヤメは、最近人気があり庭や公園で見られる様になった。本来の日本のシャガ、イチハツ、**アヤメ**、カキツバタなどの影が薄くなりそうです。6月は、ハナショウブの綺麗な時期になります。近くのショウブ園に、毎年見に行きます。有名な潮来や袖ヶ浦公園などがお勧めです。

今月の巨木 千葉寺の公孫樹（イチョウ） 千葉市中央区千葉寺町

公孫樹は、寺院に良くありますが、千葉寺のイチョウは私が知っている中で一番大きいと思います。40数年前、私が結婚した時に住んでいた近くに千葉寺がありました。久しぶりに見に行きました、樹齢は約1300年、目通り8m以上高さは30m以上あり、3mから出ている枝の乳柱は、煎じて飲むと乳の出が良くなると言われています。



ウツギ



ルイジアナアヤメ



アヤメ



千葉寺の公孫樹（大銀杏）

恒例の山菜採り山行（湯沢：飯士山岩原スキー場近辺と大源太キャニオン近辺）

今年もフキノトウ・コシアブラ・ウド・コゴミ等の時期を見計らって5月12,13日一泊二日で恒例の山菜採り山行に行って来ました。

一日目は宿の主人のガイドで岩原スキー場を直登して、湯沢の人達は「上田富士」とも呼ばれる飯士山（いいじさん 1111,5m）にイワナシ・イワカガミ・タムシバ・シャクナゲなどの花々を見ながら山頂を踏み、360°の眺望を楽しみ下山、ここから愈々山菜取りにはいる。

先ずコシアブラの木を探し枝にぶら下がり、摘み取る。昼食の後いよいよフキノトウ群生地に移動して採収に入る・瞬く間に袋に一杯になる。戻りながらも未だ採っていた。その夜は宿で山菜の天ぷら、おしたし、その他の料理で満喫しました。

翌日は場所を変えて大源太キャニオンの沢筋に入り、ウド、コゴミ狩りです。

コゴミは沢筋にあり、誰でも摘むことが出来るがウドは大変、急な崖でしかも湿地帯を好み良いものはロープを使用しないと無理な所に沢山あるが今回は無理せずに手の届く所で採り我慢する。他にワラビ、ゼンマイ、等も入れて大収穫。

皆で分け合い帰宅しました。帰ってからの処理が又大変、しばらくは山菜詰めでした。山菜採りは食すのも一番ですが採る事がまた楽しい。

秋はキノコ狩りが待っています。また参加しようと思っています。



飯士山遠望

岩ナシの花



フキノトウ群生

クリーンハイクに参加して雑感

う沢 喜久雄 （ふわくハイキングサークル）

2014年 5月11日の千葉県連主催のクリーンハイクに参加しました。

今年のクリーンハイキングは、ヤマビルの出ない時期にと言うことで、5月に繰り上げと言うことでした。この労山の恒例行事は、“環境月間”の6月の第一日曜日が通例でしたがこの2年は、亀山湖上流の七里川溪谷一帯が会場でありました。ここは、ヤマビルの巣だったことから、参加者が“血を流す”苦情がいくつかも出されていた訳で、この理由から五月に繰り上げ場所も三島湖と豊英湖の上にある高宕山一帯に変更したという事でした。

この日は新緑が輝く好天に恵まれ、又とない“クリーンハイク日和でした”本当は、気持ちよく参加し満足できる一日になる予定でしたが、いくつかの雑感を述べてみます。

クリーンハイキングの主旨と伝統を「県連としての責任を」

労山の歴史と運動の中で特徴的な行事の一つが全国で展開するクリーンハイキングです。この運動が広く波及されて、“山をきれいにしよう”・“山のゴミは持ち帰ろう”が登山愛好者の一般的な合言葉となり、山からゴミ箱が撤去されて行き、それは“山岳自然保護”の思想と昇華して行きました。この伝統を労山加入者全員に確認してもらう事が、この日の県連としての任務だと思います。

この日は、県連の役員にこの自覚がなかった様に思います。開会集会の広場で、参加者を確認し、県連役員・自然保護委員長などがきちんと挨拶すべきだったと思いました。

コース設定し分散化を・・・県連の準備不足と会施、ゴミ袋・地図は用意・・・

集合地の奥畑広場は、無政府状態だった。どこの会が何人参加し、どこのコースに行くのか自由分散状態であつたと強く感しました。受け受けの役員も居ないしコース設定の案もなく、地図のない状態であつた。こんな状態で、最後の下山確認体制のないまま散って行きました。

だから里道を歩いていた時に“私は八郎塚コースに行きたい”という事で、グループを離れて怒田沢へ向かったメンバーもありました（この人は八郎塚から無事下山出来たのか今でも不安に思っています）

ゴミを集める事より新緑と野鳥の声を聴くハイキングが主眼にした様なグループも見受けられました。この時期この山域なら山そのものを楽しむ事を非難するつもりはありませんが、その事を目的にする行事を組めば良いのだと思います。その結果かどうか、ゴミをきちんと集めたグループとゴミゼロのグループもありました。

この山域なら最寄の“君津ケルン”グループを主幹の会として、コース設定をすべきだったと思います。例えば（１）奥畑～高宕山頂（２）奥畑～三叉路～八郎塚～怒田沢林道（３）怒田沢～大滝～高宕観音（４）植畑～石射太郎～高宕観音（５）松節～お茶立場～八郎塚三叉路（６）志組～宇籐木～高宕山頂（７）怒田沢～鹿野沢～八郎塚などのコースを設定し、各コースを各会に割り当てれば高宕一帯が全域歩かれ綺麗になったと思います。この県連をあげての行事を、県連総会などで提案し、県連の総力を県民に示せる機会にすべきだったと思いました。ゴミの総量確認を・・・運動の成果を確認して・・・集合場所、集合時間、集合時間に帰着しても、グループのゴミの量を確認してもらえませんでした。

計量ハカリは、ふわくハイキングサークルの備品を持参しましたが、“不用扱い”されました。これを見るとゴミ拾いよりもコースを歩いて楽しむだけだった様に思われました。何の為に参加したのか、何の為に参加したしてもらったのか、空しい感じがしました。

労山の伝統行事を消してはいけないと強く思った一日でした。

県連クリーンハイク報告

自然保護委員会

- ・ 実施日時 5月11日 集合 奥畑 9:30
- ・ 実施時間 10:00~14:00
- ・ 実施場所
八郎塚 高宕山 コース
国道-怒田沢-八郎塚コース
集落周辺 コース
- ・ 参加会 参加人数 7会 3 38名
君津ケルン山の会 9 ふわくハイキングサークル 12 ちば山の会 7 6
こまくさハイキングクラブ 5 東葛山の会 3 茂原道標山の会 2
船山勤労者山の会 1

回収ゴミ総重量 30kg (12日君津市が回収時に測定)

- ・ ゴミ収集については国道脇の草の中に多い。空き缶や弁当の包みなど車からのポイ捨てによるものと思われる。自分の車内が良ければ車外は汚くてもという「間違った個人主義」だ。
- ・ ゴミの回収については、山に行った人達も山を、ゴミが1つでもあればゴミはゴミを呼ぶとの考えからゴミを見つけ次第、可能な限り拾った。その点ではゴミが少なくてもクリーンハイクの目的は果たしたといえる。

反省点

当初の計画 奥畑-八郎塚-高宕山-高宕観音 往路を帰る
下見により、高宕山周辺の山城では、山中ではゴミは、非常に少ない。今年は案内にある様に、クリーンハイクをしながら、ゴミを捨てないよう啓蒙活動も兼ねた交流ハイクを行うことが目的であった。

コース変更の理由

現地集合時に、鶴沢さんから「山にはゴミが少ない、全員が同じコースを取るより、国道路周辺や集落のゴミを拾った方が喜ばれる」との指摘を受け、急きょ上記のコース訳に変更した。

反省

- ・ 集合時間を変更したこともあり、出発時にクリーンハイクの趣旨の説明・日程等の説明が出来ず統一がとれなかった。
- ・ 当初の計画-高宕観音での集合が不可能になったこと、コースにより下山時間にずれが出たため終了のまとめも十分ではなかった
これらの反省を生かし、来年度以降クリーンハイクに取り組む事になった。

回収重量の測定について

県連統一クリーンハイクでは、いままでも参加各会ごとの回収量の測定はせず、全体としての重量だけを測定していました。今回は、回収ゴミが二ヶ所の分かれて置かれたため奥畑では、県連としては測定を考えていませんでした。解散後、もう一ヶ所のゴミは、君津市に回収の依頼をしてあった奥畑に持って行き一緒にしました。翌日の君津市の計測で総量 30kg でした。君津市では総重量だけを測る方法でした。

今回の県連クリーンハイクには、いくつかの不備な点がありました。次年度以降は、反省・改善し、労山のクリーンハイクの伝統を守り発展させていきたいと思っています

- ◆ ゴミとは直接関係無いが、高宕山周辺の空間放射線量は 0.048~0.050 μ S 前後でした。

「NPO法人ちば労山ゆう」の正会員・賛助会員のみなさん長かった“さつき連休”はいかがでしたか？

3・4月はワカメ養殖の作業支援でしたが、5月からホヤ養殖作業支援に変わりました。今回は、21名のご参加をいただきました。ホヤ作業には手慣れた方々が多かったのですが、初めて参加された方も7名ほど。陽気が良くなって作業中も鼻歌のひとつも出そうな心地良さでしたね。ご協力ありがとうございました。

では、早速・・・

- 1、日時 2014.5.17(土)～18(日) 快晴
- 2、参加 21名
- 3、活動場所 石巻牡鹿半島谷川浜
- 4、宿泊場所 現地漁師さんの倉庫
- 5、活動内容 ホヤ養殖用牡蠣殻の選別
および吊紐通し作業



今回は、とくに嬉しいエピソードがありました。2012年7月谷川浜にホヤ作業のお手伝いに訪れて以来はじめて、本格的なホヤの成長体にお目にかかったのです。

前回の食事時にいくつかのホヤを頂き、端っこをおそろおそろ口に入れてみましたが、！うんって感じで感動もいまいちでしたが、今回は、本格的な収穫としてのホヤと、その料理の味わいを楽しんだのです。

ひょっとして、我々の作業の成果もこの中に含まれているかも知れない。という、実感としての味わいなのです。

私自身は、今回お邪魔したA家の奥さまに休憩時に出していただいた塩茹したというホヤの味が、とても舌

に合って“やあ、おいしいじゃん”って思わず大きな声をあげてしまったものです。

私だけでなくそこにいたみんなも“うまいっ”とトーンが上がりました。ホヤのための作業はしても、その姿態に少々引いてしまう感覚を持っていましたが、この時を境にホヤ君への親密感が本物になりました。

ホヤをめぐるのは、従来、市場として韓国が大きなウエイトを占めているとお聞きしていましたが、国間の状況悪化から韓国市場がタイトになり現在は国内市場だけが頼りなのだそうです。谷川浜のブランド化が成功し市場に信頼感が定着しているそうです。我々の力が寄与したものとは思いませんが、何となく嬉しいではありませんか。

それから、これは「NPO法人ちば労山ゆう」だけではなく宮城労山など関連組織との間でボランティア活動の新しい展開を検討しています。

そのひとつには、瓦礫等の除去は終わったものの、被災地の人口減などで生活の香りが激減し、殺風景とも思える景観が広がるなかに花などを植え被災地に住む住民のみなさんに、少しでも温かみのある雰囲気を提供できないかなという試みです。

具体化するには、まだ、さまざまな問題があるかとも思いますが前向きに検討していきたいと考えています。

次回は、6月14日～15日(日)谷川浜の予定です。引続きご協力のほどよろしくお願いします。



海のパイナップル
取れたての海鞘(ホヤ)

石巻支援でお花見をしました

民医連東京共済山の会

野口 義夫

4月12～13日(土・日)、ちば労山ゆうの皆さんと、石巻市小湊浜の漁作業の支援に行って来ました。私は、これで3回目のボランティアになります。昨秋11月にはホヤ養殖の準備作業、3月はワカメ収穫の作業を体験し、今回はその両方の作業のお手伝いをして来ました。サクラ前線が仙台あたりまで北上し、帰りの車窓から素敵なお花見が出来て、思い出深い支援活動となりました。

11日(金)20時30分、北総線新鎌ヶ谷駅前から、マイクロバスで出発。船橋、君津、松戸、らんとん、東葛、ふわく、こまくさの人と私の19人が同乗者です。十三夜に近い月明りの下を、歓談と仮眠を乗せて磐越道をひた走り、12日2時40分ごろ、石巻市小湊浜給分浜の桜畑仮設団地集会場に到着、先着のかがりび、ふわく、ちば山の人たちに並んで仮眠へ。

12日6時起床、朝食、仕度を済ませて、今日の差配をされる岩見さんの案内で浦の浜へ。そこで3人、4人のグループに分かれて漁師さんの作業場に入ります。さっそくメカブのミニ剥ぎ作業に。メカブはクキワカメの両端にシイタケ状に連なってついています。それをミニ剥ぎ器で剥ぐ作業です。メカブは大きな水槽に水漬けされ、そのまま出荷されます。昼食で作業終了。「今日は小湊浜で40トンの出荷」との話を聞きました。工程上、浦の浜は13日はお休みとのことでした。集会場に戻り、夕食作りのお手伝い。15時過ぎ、戻って来た人たちと牡鹿交流センターへ入浴に。途中、鮎川浜清崎山の展望台で金華山を眺望。いつ見ても素敵な景観です。

18時、盛大な夕食交流会。メニューは、ワカメのしゃぶしゃぶとカレーライス。各自持込んだ飲み物で自己紹介、歓談と賑やかに交流。二次会はマイクロバスで22時ごろまで山の歌で盛り上げました。就寝。

2日目はホヤの養殖準備作業

13日5時起床、朝食、仕度を済ませ、今回は室内で記念撮影。7時、昨日の続きを担当するグループと谷川浜の渥美さんの作業場へゆくグループに分かれそれぞれ出発。私は谷川浜行きに参加しました。今日の作業は、カキ殻の選別、穴開け、ロープ通しです。昨秋11月と同じ作業です。カキ殻の山から適当な形と大きさの殻を選別する作業です。5月以降は、この作業が続くとのことでした。

帰路は雪の山々眺望とお花見のバス旅に

集会場に戻り仕度を整えて帰路へ。石巻市にある134仮設団地の一つ・桜畑団地を11時20分に出発、コンビニ、かまぼこの白謙に立寄り、三陸道、東北道、磐越道と走り、18時20分、新鎌ヶ谷駅に帰りました。バスの車窓からは、雪を被った泉が岳、蔵王、安達太良連峰、吾妻連峰が望められました。なによりサクラ、コブシ、ハクモクレン、レンギョウ、ナノハナなどが眺められ、もうお花見気分、春いっぱいバス旅でした。

今回の支援で感じたこと:千葉労山の皆さんが会・クラブを超えて仲良しであること、小湊浜の漁師や住民の人たちから厚い信頼を得ていること、これが支援活動の基になっているのだ、と強く感じました。

野口 義夫さん(民医連東京共済山の会)を、紹介をさせていただきます。

野口さんは、全国連盟・自然保護委員会で長い間活動して、「自然保護憲章」の制定にご尽力いただきました。そして、尾瀬の自然保護をライフワークとし、シーズンにはボランティアで、ハイカーに尾瀬の自然・保護についてレクチャーをしています。労山の自然保護運動の功労者です。「ゆう」の支援活動にぜひ参加したいと、埼玉県戸田市から鎌ヶ谷まで遠路参加しています。

私が、全国連盟理事になった時、理事会等で多くのアドバイスをいただきました。

—— 編集者・広木 国昭 ——

わがくにやま なんだいやま あたごやま
第三回交流山行（吾国山・難台山・愛宕山）縦走ハイキング

まつど山翠会 山行部：南（町田）

1. 目的：東葛地区交流山行（満開の山ツツジ、新緑を楽しむ他会との懇親を深める）
2. 日時：2014. 5. 8（木）天候：晴れ 気温 16-23℃ 風弱く
3. 参加者：幹事：まつど山翠会（7人）・松戸山の会（3人）・シリウス山の会（5人）
・かがりび山の会（4人）
4. 行程・ルート：福崎駅ー吾国山⇒難台山⇒愛宕山の縦走ー岩間駅（歩程6時間15分）



「新緑と満開の山ツツジそして笑顔」

・「吾国・愛宕県立自然公園のハイキングコース」を選定。カタクリ、桜の開花時期がずれスズランの咲く時期には早く幹事としてちょっと心配したが新緑、満開の山ツツジ等頂上からの絶景に恵まれ。高低差合計 1000m を越えるちょっとハードなハイキングであったが皆さんの協力の下、楽しい交流山行ができ有難うございました。今後もより一層懇親を深め交流の輪を広げて行きましょう。次回（秋季）の幹事は「シリウス山の会」です。みなさんご期待ください。”まつど山翠会 山行部“

5. みなさんの感想等（敬称略）

◆松戸山の会：

- ・大越：各会からは、18名参加し「新緑と山ツツジを堪能した」と異口同音に話をしておりました。標高の割にアップダウンと長い距離で疲れました。下山後の交流懇親会には、参加者全員が参加しました。皆さん歩くのも好き、宴会も好きなのでしょうか。

◆シリウス山の会：

- ・佐藤：交流山行も三回目となり、山を歩くという目的が同じ事から初参加の方でも和気あいあいと、楽しい雰囲気自然とできる。まさに交流の目的がそこにある気がします。次回はシリウスの担当、みなさまとの再会を楽しみにしています。
- ・能登：茨城方面の山には、あまり登ったことがありませんでした。

JRのみの利用で登山出来る山は良いですね。アップダウンの連続で、夏山に向けてのトレーニングには、もってこいの山でした。交流山行を機会に、また新しい山友に出会えたことを、嬉しく思います。

◆かがりび山の会：

- ・山本夫妻：新緑とツツジが綺麗な時期で歩行距離も高低差も充分にあり変化ある山行を楽しみました。幹事さんご苦労様でした。次回も楽しい山行にしましょう。
- ・川口：ヤッホー！と一緒に叫んで頂き有難う。交流山行に参加してホンマに良かったです。燃えるような山ツツジ清楚なスズラン、人名、花名、山名ずっと忘れないでいたい！皆さん秋に元気で再会しましょう。

◆まつど山翠会：

- ・L：南：おかげさまで、満開の山ツツジとお天気に恵まれ今回も楽しい山行でしたね～名ばかりのリーダーでしたが無事に下山でき、とてもホッとしました。皆さんありがとうございました。そして懇親会で交流しましょう！と山行計画が持ち上がりましたよ！

第27回 平和を願うコンサート

ふるさとよ とわに輝け

2014年 7月12日(土) 6:00p.m. 開演 (開場 5:30)

千葉市生涯学習センターホール

全自由席 前売券 1,800円 / 当日券 2,000円

(障がい者・高校生以下 1,000円)

第1部

尺八と箏のための
複協奏曲
作曲 松川利夫 R八 井上 喜義
箏 井上 久子
ピアノ 柴田優美子

即興曲変口長調 シューベルト ピアノ 桐生 啓子

悲しくなったときは 他
詩 寺山修司 ソプラノ 堀口 弥生
曲 中田喜直 ピアノ 平木 晶子

木管三重奏
山形民謡による幻想曲
作曲 池田文彦 フルート 大竹 泰夫
(初演) クラリネット 金 元
ファゴット 加藤 洋男

第2部

詩と音楽
「よみがえれ故郷」
朗読 中里 雅子
演奏 会員有志
「信じる」
作詞 谷川俊太郎 合唱 千葉合唱団
作曲 松下 耕 スカーレッツ
「今が美しい」
作詞 村田さち子 指揮 安藤由布樹
作曲 鈴木憲夫 他 ピアノ 木村 裕平

エピソード

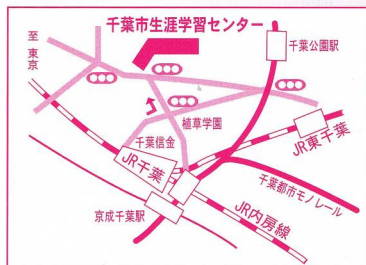
エーデル ワイス 他 全員合唱



ロビーにて写真展「3.11を忘れない」

写真提供

『NPO法人千葉労山復興ボランティアゆう』



- ・JR千葉駅東口または北口から徒歩8分
- ・千葉都市モノレール「千葉公園駅」から徒歩5分
- ・JR千葉駅北口から、千葉内陸バス「千葉駅」行で「中央図書館・生涯学習センター」下車

平和を願う音楽家の会¹³

■スタッフ

プロデューサー 井上喜義 舞台監督 岡村 武

●お問い合わせ ☎ 043-241-2697 (平木)

後援：三番瀬を守る署名ネットワーク 平和を願う千葉県美術家の会 核戦争防止千葉県医師の会 千葉県勤労者山岳連盟
若葉新春平和と文化のつどい

平和コンサートの ご案内

こまくさハイキングクラブ
加藤 洋男（元県連理事長）

今年の平和を願うコンサートは一昨年に引き続き東日本大震災、原発をテーマに「ふるさとよ とわに輝け」というタイトルで開催されます。



今回、私は昨年に引き続きフルート、クラリネット、ファゴットの木管三重奏曲『山形民謡による幻想曲』池田文麿作曲、初演で出演します。

昨年に引き続き千葉労山の後援をいただきました。またロビーにて写真展『3.11 を忘れない』を開催いたします。写真は『NPO 法人千葉労山復興ボランティアゆう』に提供していただきました。

お時間ございましたら、ぜひ 御来聴いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ、チケットの申し込みは私加藤までお申し付けください。

千葉労山・千葉こまくさハイキングクラブ会員 加藤洋男

Tel&FAX 043-286-2616 Mail katoh-hi@mx71.tiki.ne.jp

千葉県連盟は、平和を願うコンサートを後援しています。
今年も東日本大震災・原発をテーマに「ふるさとよ とわに輝け」というタイトルで開催されます。

加藤さんは、故郷・山形への思いをこめた、木管三重奏曲「山形民謡による幻想曲」を演奏します。

また、ロビーでは「3・11を忘れない」写真展も開催されます。
支援活動を継続している「ちば労山ゆう」の写真も展示されます。

夏山真っ最中ではありますが、足を運んでください。

—— 広木国昭 ——

県連たより

県連盟連絡先

- ◎ 千葉県勤労者山岳連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX: 043-306-1190
Eメール: rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR 総武線幕張本郷下車、海側 徒歩 5 分
(県連事務所に常駐者はいません)
- ◎ 千葉県連ホームページ
<http://www.cwaf.jp>
県連盟への問い合わせは、上記ホームページ
事務局への問い合わせまで
- ◎ 事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax: 043-271-4704
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず
送付の事。
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
機関紙委員会・広木 国昭
danphiro@zpost.plala.or.jp
- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 東日本大震災・支援金振込み先
口座番号: ゆうちょ銀行
00240-8-98419
加入者名: NPO 法人 ちば労山ゆう
代表者 吉田 哲治
- ◎ その他、県連盟、全国連盟への、ご意見
問い合わせなどは・広木まで

NPO 法人「ちば労山ゆう」

- ◎ 「ちば労山ゆう」への入会は
千葉県連盟ホームページから
入会出来ます。
 - ・入会申し込みは
<http://www.cwaf.jp/contact/10-2/>
 - ・「ちば労山ゆう」への問合せは
<http://www.cwaf.jp/contact/09-3/>
- ・入会情報 (5 月末)

正会員数	93 名
賛助会員数	100 名
合計	193 名

常時、会員を募集しています。
入会連絡は、上記アドレスまで！
新年度の NPO「ゆう」支援活動の
お知らせ
 - ・ 6 月 14 日 (土) ・ 15 日 (日)
 - ・ 7 月 12 日 (土) ・ 13 日 (日)

支援物資は常時販売中です。

下記アドレスに連絡を！

支援物資担当・広木までどうぞ

「おさしみわかめ」

「さしみこんぶ」

「くきわかめ」

「すき昆布」

「とろろこんぶ」

常時在庫あり、宅配相談下さい

danphiro@zpost.plala.or.jp
090-8316-2020

県 連 活 動 予 定 表

6 月	行事予定	7 月	行事予定
1 日	県連「初級登山教室」	1 火	県連役員会
2 月		2 水	
3 火	県連役員会	3 木	
4 水		4 金	
5 木	ウイークデイ山行	5 土	
6 金		6 日	
7 土		7 月	全国役員会
8 日		8 火	ハイキング委員会
9 月	全国役員会	9 水	
10 火		10 木	
11 水		11 金	
12 木	50周年第1回実行委員会	12 土	「ゆう」支援活動
13 金		13 日	(牡鹿半島・谷川浜)
14 土	「ゆう」支援活動	14 月	
15 日	(牡鹿半島・谷川浜)	15 火	全国理事会
16 月	救助隊定例会	16 水	
17 火	全国理事会	17 木	県連理事会
18 水		18 金	
19 木	県連理事会	19 土	
20 金		20 日	
21 土		21 月	救助隊定例会
22 日		22 火	
23 月	遭難対策委員会	23 水	
24 火		24 木	県連組織委員会
25 水		25 金	
26 木	県連組織委員会	26 土	
27 金		27 日	
28 土	全国女性委員担当者会議	28 月	遭対委員会・NPO役員会
29 日	〃	29 火	
30 月	NPO役員会	30 水	
		31 木	

発行者：千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL・FAX 043-306-1190（事務所に常駐者はいません）

発行責任者：吉田 哲治

編集責任者：広木 国昭

問い合わせ先：千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ